THE SERVICE CLUB OF Y.M.C.A.
THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU 21

KOFU21
Chartered 1990
甲府21ワイズメンズクラブ

編集長　野々垣和宏　　2024 年 7 月 2 日（火）発刊

〒400-0032 山梨県甲府市中央３丁目１０－７
山梨ＹＭＣＡグローバルコミュニティセンター
☎055-235-8543　　fax055-235-8553
Mail　kofu21@googlegroups.com

国際会長	チャーミング・シェン（台湾）	「太陽の輝きと笑顔」(Sunshine and Smile)
アジア太平洋地域会長	ジョウン・ウォン（香港）	「大きなインパクトを起こそう」(Make a Great Impact)
東日本区理事	山田公平　（宇都宮）	「ワイズの方向性を見極める」(Our Future Direction)
あずさ部部長	ピーター・マウントフォード（甲府）	「めあて　望み」
甲府21クラブ会長	輿水順雄	「未来のために行動しよう」(Let's act for future!)

甲府21ワイズメンズクラブ
2024 年 7 月会報

今月の強調テーマ
キックオフ・PR

［今月の聖句］　　選・松村　豪夫

「あなたがたは神に愛されている子どもですから神に倣う者となりなさい」
（エフェソの信徒への手紙 5 章一節）

7 月 巻頭言

会長　輿水 順雄

帯広の第 27 回東日本区大会、第 26 回チャリティーランと慌ただしく 6 月が過ぎ、早くも新年度となります。2020-21 の 30 周年の年度に会長をしましたので、4 年ぶり 2 度目の会長となります。皆様のご協力をお願いします。

今年度の主題は「未来のために行動しよう」としました。会員個々の事情によって、ワイズへの関わり方は様々だと思います。ライフステージ、家庭の事情、仕事関係など。基本には山梨 YMCA を支えて、また奉仕活動を通して、社会を・未来を良くして行きたいと言う想いがあるはずです。それぞれの事情の中で、できる限り活動に参加してほしいと願っています。具体的に行動する中で初めて、YMCA のスローガンである「みつかる　つながる　よくなっていく」を感じることができると思います。特にユースの活動は未来につながるものとして、引き続き支援をしていきたいと思います。AYC（アジア太平洋地域ユースコンボケーション）などの大会参加支援、銀河鉄道の森づくりをするユースの支援など。また、例会にもユースリーダーにできるだけ出席してもらい、交流を深めたいと思います。

チャーターメンバーとして活躍してこられた駒田勝彦さんが、例会参加が難しくなってきたため 6 月末で退会されました。クラブへの多大なご貢献に心より感謝いたします。

7 月のキックオフ例会では 3 名の入会式があり、幸先の良いスタートとなります。江口英雄さん、志村直毅さん、平田耕治さんを加えて 44 名の会員となります。東日本区で一番の会員数になります。会員も多くなりましたので、会員相互の交流の機会も持ちたいと思います。皆様の積極的な参加をお願いします。

6月第一例会プログラム

2024 年 6 月 4 日（火）　19：00～
会場：山梨 YMCA３階大澤英二記念ホール「ベテル」

第1部　甲府 21 ワイズメンズクラブ例会
① 開会点鐘
② ワイズソング、ワイズの信条
③ 今月の聖句・一言
④ 会長挨拶
⑤ ゲスト、ビジター紹介
⑥ あずさ部部長挨拶

▽甲府 21 クラブ総会
1）定足数確認、議長選出
2）事業報告，決算報告
3）監査報告
4）新役員承認の件
～新旧会長バッジ交換～
5）新会長挨拶、議長交代
6）事業計画案、予算案承認の件
7）甲府 21 クラブ会則変更の件
総会終了
▽入会式
第2部　懇親会
(1) 開会あいさつ
(2) 食前の感謝
(3) 乾杯
(4) ゲストスピーチ
懇　談
(5) ハッピーバースデー
(6) YM 報告、諸報告
(7) YMCA の歌
(8) 閉会点鐘

《7月の誕生者》 Happy Birthday!

〈メン〉
鎌田　巌（7/4）
淺川　貴明（7/8）
赤池　譲司（7/16）
功刀　弘（7/26）
佐藤　哲郎（7/28）

〈メネット〉　［敬称略］
佐藤　彩香（7/8）：利之 夫人
依田　礼子（7/18）
松村　保乃（7/20）：禎夫 夫人

2024年6月例会報告

書記　寺田喜長

日時　2024 年 6 月 4 日　19：00～
会場　山梨 YMCA3 階大澤英二記念ホール「ベテル」
▽小澤公紀会長任期最後の例会はゲスト卓話者、入会予定者、ユースリーダーの方々を含め 33 名が出席し開催されました。松村禎夫ワイズの聖句・一言、奈良田和也ワイズの自己紹介を含めた建築設計関連の一言、会長は今期の会員皆様のご協力に感謝し、次期輿水会長年度の更なる発展を期待しますと挨拶、6月の誕生月該当者がメネットも含めて9名と最多数、出席者 5 名に記念品をお渡しし一言コメントをお願いしました。ワイズディナーの時間を利用し 6 月 15 日に藤村記念館で開催する杉田博子ワイズのコンサートと、6月 20 日にぶどうの丘で開催するしらいみちよさんの「能登半島地震被災地支援コンサートの案内」を紹介させて頂きました。
▽ゲスト卓話には山梨いのちの電話理事長高戸宣人様をお招きし講話を賜りました。功刀ワイズが腰痛にも係らず髙戸講師紹介のために例会に出席下さり、お二方の深い関わりが伺えました。
　いのちの電話の歴史と、山梨での設立経緯、活動内容、活動報告そしてその成果、現状報告では相談員不足、資金不足と今後継続していくことに一抹の不安を感じる。利用される方は多いが対応できないとの苦しい状況をお伝え下さいました。悩める多くの方の一つでも多くの命を救う活動を覚え、それぞれが出来る範囲支援を心がけましょう。
▽第 27 回東日本区大会参加報告、9 日開催のチャリティーランへの協力、キックオフ例会のお知らせ、ユースリーダーの活動報告等盛りだくさんの例会は定刻に閉会となりました。
小澤公紀会長、一年間ご苦労様でした。

［会計報告］

2024 年 6 月末現在

項目	ニコニコ	バザー	クリスマス	トータル
目標値	250,000	100,000	50,000	400,000
6月の合計	29,631	0	0	29,631
6月末迄累計	389,588	308.529	52,000	750,117
達成率	155.8%	308.5%	104.0%	187.5%

第26回山梨YMCAチャリティーラン

ブリテン　　野々垣　和宏

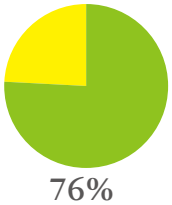
日時　2024 年6月9日（日曜日）
会場　小瀬スポーツ公園
参加者
　▽ランナー
　　大人　自走　52名　代走　50名
　　低学年　8チーム　29人
　　高学年　11チーム　43名
　　宝ひろい　10チーム　39名
　　合計　50チーム　213名
　▽ボランティア
　ワイズ（甲府20名、甲府21　25名　甲府やまなみ3名）　ボーイスカウト（2団20名　5団25名）健康科学大15名　ユニタス8名　チアアップやまなし（ダンス）21名　他
収支
　収入　参加協賛 144 万、支援金 97 万ほか
　　合計　2,621,500 円
　支出　障がい児童プログラム　154 万
　　経費　107 万円

今後の予定

7月　2日（火）　第1例会　18時半 会場　かいてらす
7月16日（火）　第2例会　18時半
7月27日（土）　あずさ部第1評議会（松本クラブ）

8月　1日（木）　YMCA フクロウキャンプ（八ヶ岳自然の家　カレー作り支援　第2例会兼ねる）
8月　6日（火）　第1例会　18時半

《 6 月例会の出席者》



会員数	42名
第一例会出席者	28名
その他行事参加者	4名
総出席者数	32名
出席率	76%

第27回東日本区大会参加報告

書記　寺田　喜長

2024 年 5 月 31 日～ 6 月 2 日　帯広

前回の甲府での大会に北海道から多くのワイズが参加頂き、そのお礼にとメン 8 名メネット 3 名の 11 名にて大会に出席しました。今大会は金曜日の前夜祭、日曜日のエクスカーションをはさんで大会は 1 日で完了するプログラムでした。十勝クラブは 1999 年に第 18 回アジア地域大会、2009 年には第 12 回東日本区大会をホスト、2020 年の第 23 回大会はコロナ禍で中止となりましたが、大きな大会を何度も引き受ける活力あるクラブです。今回も心の残る大会となる事を期待して参加しました。十勝入りの夜は魚介類を肴に一杯、そして締めにラーメンをはしご。二日目は釧路観光組と、ゴルフ組に分かれ、ゴルフ組は午前中然別湖観光後、午後からラウンドし懇親会へ、観光組は釧路湿原を探索後、新鮮な美味しい魚での夕食を堪能いたしました。

大会当日は会議出席者は会場へ、メネットはメネットアワーに参加して真鍋庭園ツアーに参加、もう一組は紫竹ガーデンと六花の森、帯広競馬場を見学し大会会場の十勝プラザへ向い開会式に臨みました。オープニングセレモニーは帯広大谷高校のマーチングバンドの演奏、とかち帯広 YMCA 幼保園園児による可愛らしく、ほほえましいトリミックダンス、そして大会の初頭を飾る恒例のバナーセレモニー。わがクラブのバナーの緑がひときわ映えて見えました。山田公平理事の開会点鐘にて大会がスタート。十勝クラブ池田正勝会長の「十勝の食材と、十勝の大地を堪能下さい」との歓迎の挨拶、来賓の祝辞を頂き、メモリアルアワーにてご逝去されたワイズ仲間のご冥福をお祈りいたしました。　東

日本区アワーⅠは理事、ユース、代議員、YMCA の一年間の報告にて終了、休憩（おやつタイム）では地元のお菓子、アイスクリーム、飲み物が準備され十勝のおいしさのおもてなしに感激。記念講演は「食べることは生きる事」と題して南極料理人西村淳氏のお話を拝聴、南極越冬隊の食事担当で隊員を支えられた貴重な体験、そこから得た「楽しくて、美味しくて、温かく、そして見知らぬ誰かともすぐコミュニケーションがとれて、今の世に欠けているものすべて詰まっているのが『料理』」と言う信念から食事や食卓のコミュニケーションの大切さをお話しされました。

東日本区アワーⅡは事業主任報告と各種表彰、理事就任式、役員紹介が行われました。山田公平理事の続投ですので役員も留任が多数で短時間にて進行、ほぼ時間内に閉会式となり十勝より宇都宮に大会バナーが手渡され閉会しました。会場をホテル日航ノースランド帯広移動してウエルカムドリンク、大晩餐会が催され、趣向を凝らしたプログラムと北の大地の豊かな食材の美味しいお料理を堪能させて頂きました。各所で久しぶりの再会に喜びの笑顔がはじける恒例の晩餐会は名残惜しい中、お開きになりました。続いてフェローシップアワーが開催されましたが失礼し、宿泊ホテルに戻り就寝。2 日の日曜日は礼拝参加者は十勝プラザにて日曜礼拝に出席、9 時からはエクスカーションにて帯広周辺を観光後そのまま帯広空港へ移動、帰路につきました。十勝クラブと札幌クラブ、北見クラブの大会開催担当クラブのワイズ会員の皆様素晴らしい大会をありがとうございました。

「日本での百年」を辿って

カナダ・メソジストの歩み［明治・大正編］
グウェン・R. P. ノルマン◉著
後藤哲夫◉訳
One Hundred Years In Japan, Part I: 1873-1923

後藤　哲夫

第 6 回　「神が選ばれたのは」

カナダの教会による日本伝道を、整理しておこう。１８７４（明6）年男子ミッションカナダメソジスト宣教協会は、カックラン、マクドナルドの二人の宣教師を日本に派遣した。３年後、第２陣としてミーチャム、イビーが来日した。イビーの個人的な発案で、学校で教え、給料を得ながら伝道する、自給伝道隊（自給伝道者のグループ）が生まれた。一方それらとは独立して、１８８１年、女性自身による婦人宣教教会（WMS）が組織され、最初の宣教師カートメルが来日し、８４年東洋英和女学校が創立した。彼女は、有給の婦人伝道師（バイブル・ウーマン）を育成し、伝道のために共に働いて欲しいと考えた。そのために１１項目の規則を作った。牧師たちが仕事への責任をしっかり認識すること、３ヶ年聖書購読コースを作り、年に 1 回試験をすること、日曜学校で教えることなど。その中から規則１０を抜き書きしてみたい。

初めに、婦人伝道師は大きなノートを一冊与えられ、そこに訪問の記録から、集会、彼女の仕事に関わりのある興味ある事柄を、日々書き留めておかなければならない。このノートの一部と別のノートには、訪問した人とその家族の名簿を記録し、それをミス・カートメルが所有する名簿と照合させる。常に参照されるものなので、同じ順番に名簿が書かれていれば、能率良く参照できる。
これらの記録から、一カ月の報告書が作られ、牧師の署名が書かれて、毎月末にカートメルに送られた。これらの報告書が受領され翌月の給与が送付された。

カートメルは、ミセス和田が一生懸命訪問伝道を続け、月に 35 から 40 軒、あるときは 71 軒の家を訪問したことを賞賛してこう述べている。「彼女はとても貧しく、無学な者ですが、私たちが彼女のことを耳にするすでに以前から、神の愛と救いの喜びに満ちあふれ、そのことを隣人や友人たちに語り始めていたのです」。これら三人の婦人伝道師は、その後長い間婦人宣教協会（WMS）が雇用し、援助し、自信と希望を与え続けた、数知れぬ多くの他の婦人伝道師たちの先駆けであった。最初給与は特別な献金によって支給されていた。

ここに登場する和田まつ子は、甲府出身。あまり目立たない存在であるが、『日本キリスト教歴史大事典』や、『甲府教会百年史』に書かれたものを読んで大変感銘を受けた。ここに紹介したい。
「ある秋、長く疎遠にしていた実弟がまつ子を訪れ、蚕の飼育を親切に助けてくれた。これまでと違ったその変化に驚いて尋ねたところ、キリストを信じたからと答えた。その時彼女は神の力を感じ、信仰に導かれ、文字も読めなかったのに勉強し、夫と共に甲府教会で洗礼を受けた。その折り、ミス・スペンサー（ミセス・ラージ）に勧められ、婦人伝道師の試験を受けたが、他の者に代筆してもらってパスした。甲府の製糸工場のストライキのとき女子工員のために働いた。常に数名の中学生を家に預かり、青少年の育成にも尽くした」とある。和田まつ子の顔写真は、東洋英和のカートメル関係史料に掲載されている。もう一枚、カートメルと人力車に乗っているものがある。親しい仲だったことがうかがえる。

１９０２年カナダからカートメルは母校に手紙を寄せた、その一節にこう書かれている。

「愛する甲府の和田夫人、牛込の檜山夫人、そして麻布の佐橋夫人については、初期のバイブル・ウーマンの働きにご尽力くださいましたこと深く記憶しております。小さいことを積み重ねていた日々でした。隣人や友人を招いて、福音が届くところまで多くの方々をお連れできました。いらした方々の証はどれもすばらしく、多くの方々がどんなに励まされ、心を強くされたことでしょう。神様の恵みが仕事に就いている皆さまの上に豊かに与えられますよう祈っております。」（東洋英和学院資料集　第5号　３０頁。一部改稿）

婦人伝道師（バイブル・ウーマン）を育成した「カートメルの願いは、婦人宣教師がいまだ足を踏み入れたことのない田舎の片隅に伝道し、人々を慰め、福音を宣べ伝えることであった。」これがカナダ・メソジスト・ミッションの特色のひとつである。またその財政は、WMS の会員の会費、教会および私的な献金によって支えられていた。

Miss Cartmell and her interpreter,Miss Wada.(Date of Photo,1884)
内容詳細：人力車上のカートメル　右はバイブルウーマンの和田姉

ブリテン委員長野々垣和宏です。新しい年度もよろしくお願い致します。

日本での百年の連載も第６回となりました。今回は、甲府出身の和田まつ子さんを取り上げておられます。少しずつ、歴史は、自分の身の回りに感じられてきます。▽今回の号の中で、和田まつ子さんが月に 35 軒、40 軒を訪問･伝道をするという場面に、私は感動を覚えました。具体的に、何軒廻るのか、ということが念頭にあっての訪問軒数の記録です。ブリテン今号は２０２４年度スタート号です。このタイミングで、「営業力」（と呼んでいいのか甚だ疑問ですが）の大切さを痛感しているのです。▽ワイズメンズクラブの活動の良さは、会員にはわかっても外部の人にはなかなかわかりません。会員の人にはそれぞれのマイストーリーがある、と思います。それを伝えることで、ＥＭＣ活動にも力を入れて行きたい、と思いました。

CS／Yサ活動報告

日時　2024 年 6 月 26 日　午後 1 時～午後 4 時 40 分
参加者　ワイズ　小澤会長他　10 名　ゲスト稲垣さん・小名木さんの2名　淺川メン代理　塚原さん1名　沼田さんご夫妻 2名　キラキラ教室の子供たち10名　スタッフ 5名　総勢30名
場所　沼田農園
概要

今回初めての事であったが、雨が多かったこと・気温が高かったこと・雑草取りを怠ったこと等により、ジャガイモがどこにあるかもわからないくらい雑草が生い茂ってしまった。まずは 13 時から草刈りを実施。午後 3 時半から 4 時 40 分までジャガイモ収穫作業を行う。

午後 3 時30分子供たちと大きな声であいさつ。ルールを説明し開始しました。ワイズメンが掘り方を支援し、ジャガイモはザクザク掘り出される。子どもたちも大人たちもワイワイ歓声を上げながら収穫しました。掘ったジャガイモは予め決めた場所に大玉・中玉・小玉と分けました。（ルールを守る訓練）　その後、大玉のものは 4 個から 5 個を一つの袋に詰めしてもらいました。この袋詰めされたじゃがいもは、YMCA の玄関先で募金箱と一緒に置きます。（売り上げは　甲府21ワイズメンクラブが YMCA へ献金とするものです）17時にはすべてが完了し、集合写真を撮り終了。袋詰めされたじゃがいもはYMCAに運ばれます。子供たちが「これ私達が掘ったじゃがいもだよ！」と自慢しているかな！　本日は特別にワイズの友好を感じられる嬉しかったことがありました。休会メンバーであった稲垣浩司さんが駆けつけてくれた事（仕事の合間を奉仕してくれた事）

■ジャガイモ植え付けから収穫までの記録（推定含む）
種類　男爵　3Kg キタアカリ3Kg　合計6kg
2024 3/21 子供たちと植え付け　気温低く寒い日
2024 6/26 収穫　晴れ 気温33度 暑い日
収穫量　推定　大玉　200g / 個　　119kg
中玉　100g/ 個　　59kg
小玉 30g/ 個　　45kg
合計　219kg (種芋の36倍の収穫)

CS･Yサ活動委員会委員長　荻野清・佐藤重良（報告）

ペンリレー
日本の森・山が変わる　　佐藤 重良

▽世界最古の木造の建築物は日本にある奈良法隆寺です。１０００年を超える世界に誇る、美しい建造物です。そこに使われている木材は地域の山で数百年で育ち、建造のため山奥から、運ばれたものだと聞きます。▽その木造建築物が、地球温暖化問題と、技術革新により、いま新たな時代に入ろうとしているのです。背景には、全ての人々が気候変動を引き起こす環境問題に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献しなければならない事があり、待ったなしの行動を個人も・企業も、すべての社会の人々が目標に向かって、達成しなければならない、つまり自然再生時代に入っているからです。▽特に日本の CO_2 削減に貢献するのが、木造建築物で、多くの期待がかけられています。それは木材はCO_2をストックしてくれるからです。

・美しい森林は　持続可能な社会に大きな貢献

森林は光合成により CO_2 を吸収してくれます。気候変動対策には健全な森林の保全が欠かせません。健康な森林は

▶植える▶育てる▶伐採する▶使う　のサイクルが必須です。省エネの取り組みのみではこれ以上 CO_2 の削減は出来ないのです。新たな手法が必要であるとして、環境負荷低減・社会の課題解決も視野に入れて、国産木材使用を検討し、実際に建設に取り組んでいる企業は多くあります。日本を代表するトップ企業が率先して取り組もうとしていることのほんの一部を紹介します

○東京海上日動　本社の建替　高さ１００m　国産木材を使った世界最大規模の木造ハイブリット構造のオフィスビルの建設を発表しました　２０２８年完成目標です

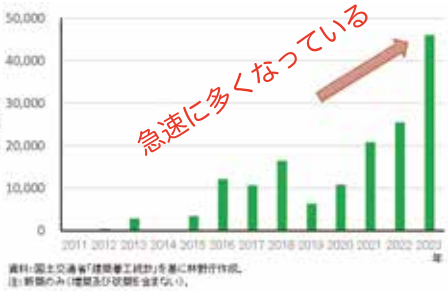
○第一生命京橋ビル　木造ハイブリット　高さ５６m　竣工２０２５年以降

○三井不動産日本橋オフィスビル　高さ７０m　完成２０２６年予定

○マクドナルドの地域の木材使用店舗出店・セブンイレブンの木造店舗・スターバックスの木造店舗等他多数あります。

国産木材の供給率１００％は地域社会の発展

日本の建築物に使用する木材は、輸入材の比率が多く、一時国産材の供給率が１８％でしたが、近年国産材は４１％まで回復してきました。国の法律を改正して、公共建物には国産の木材を使用することを義務化し、また民間建築の場合も木材使用を促進するようにしてきた背景もあります。SDGsを促進し、脱炭素社会を目ざす為にも今後もっと国産木材の使用が多くなるものと思います。



着工した中高層木造建築物の床面積の推移

木材は人間にやさしく　美しい森林は国土の安全・安心

木材はデザイン多様性、肌触りの良さ、視覚にやさしい、温もり、保温・断熱に優れている、耐久性、加工しやすい、コストが安いなど、いろいろ良い面がたくさんあります。木材の特性に合った使い方をすればコンクリート・鉄・より優れている建材です。国産材を使うことにより「造林・伐採・利用・再植林」のサイクルが回り、山の保全・水量の貯蓄・地域経済の活性につながり循環型社会の構築に大いに貢献できるものなのです。そして美しい森・山がよみがえります。

◆YMCA便り◇

「第 26 回山梨 YMCA
インターナショナル・チャリティーラン 2024 感謝」

総主事　　中田　純子

2024 年 6 月 9 日、山梨 YMCA 第 26 回インターナショナル・チャリティーランが無事終了することができました。当日は日曜日、早朝に本館 3 階の大澤英二記念ホール「ベテル」で行われた主日礼拝により心豊かに、イベントに向けた素晴らしいスタートを切ることができました。曇り空で心地良い気温の中、開会式が始まりました。準備体操として、M. エイトスポーツクラブの川上琴美先生による「YMCA 体操」が行われ、参加者全員が一体となって体を動かすことで、会場全体に一体感が生まれました。競技が開始され0才からすべての年代の方々が参加、元気にコースを走り抜けました。けが人や体調不良者は一人もおらず、参加者たちの笑顔や応援の声が会場に溢れました。ゴールテープを切る瞬間の達成感に満ちた笑顔は、まるで神様からの贈り物のようでした。このイベントで集められた協賛金や支援金は、全国の障がいを持つ方々の支援に役立てられる予定です。参加者一人一人の優しさと熱意が、支援を必要とする子どもたちの笑顔に繋がることを確信しています。ワイズメンズの皆様のお支えにより、今年のチャリティーランも無事開催され私たちの心に深く刻まれましたインターナショナル・チャリティーランとなりましたことに心より感謝いたします。これからも、スタッフ一同チーム力を生かし、地域共生社会の実現を目指した人々に寄り添う活動を続けてまいりますので共に歩んでいただけますようお願いいたします。